

議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
4	2款1項5目 企画費	地域情報通信基盤管理運営事業

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 町民ニーズ	23	町内での情報格差を解消し、情報通信の発展を町全体の発展に繋げていくには事業は必要である。 テレビ難視聴の格差が解消されており、今後とも必要性は高い。 若い世代では、スマートフォンやタブレットの活用で、固定電話撤去の世帯も増えつつあり必要性は高まる。
2 妥当性 町が行わなければならないか	16	本来は民間事業者がやるべき事業ではあるが、町民がいつでも情報が享受できる環境づくりのためには、町が行うこともやむを得ない。 点在する住居や人口を考えた場合、町民の安心と快適な生活を確保するためには引き続き町で運営しなければならない。
3 効率性 事業手法の効率性はよいか。コスト削減の余地はないか。	9	管理運営については、一体を包括的に管理することが大切である。分野ごとの都度都度の更新手続は改善すべきである。 全国普及率を上回っているとはいえ、地域性を考えると加入世帯がまだ低い。早急に全世帯加入を目指すとともに、環境を活かした起業などへの活用を推進すべきである。 当初の整備は補助金を活用できたが、更新に対する補助金が無ければ財政負担が大きくなる。どのような形態にしたら経費の削減、効率化に繋がるのかをソフト事業者等の関係業者と協議していくことが必要である。
4 成果 目標の達成状況	17	町内での情報通信格差が解消できたことの意義は大きい。 加入率は高くなってきており成果はあったが、インターネット、携帯電話、テレビでの活用の他の利活用についての検討すべきである。 インフラ整備、インターネット加入率は成果と言えるが、IoT化やコンテンツの高度化に伴う需要を起業に結び付けることが必要。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	1 きわめて良好である 100点	65
	2 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	これまでの成果は上がっていると思うが、今後の設備投資や維持管理費用も含め、管理運営に関する年次計画等の対策を考慮しておくことが必要。 老朽化に伴う更新に備える基金等準備が必要では。 全町に光ファイバー網が網羅されていることを考えたとき、情報化の進展の波に遅れることなく、あらゆる面で情報発信できるよう、ソフト面での活用の仕方を民間事業者を巻き込みながら考える必要がある。 全町に光ファイバー網が網羅されていることの利点を活かし、起業を促すことにより町の活性化を図る施策を立てるべきである。
	2 現状のまま維持する	
	3 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
第5世代移動通信システム（5G）の普及を図っており、ますます情報通信インフラが進むなか、町の光ファイバー網は令和7年から12年に更新の時期をむかえ、その対応について検討する必要がある。業者に設備投資を要請すべきではないか。 テレビ共聴組合は現時点でも故障が増え維持経費の負担が大きくなっている。今後加入世帯の減少により各共聴組合の運営が困難になる恐れもあり対応が必要である。